

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
血液腫瘍制御学

【研究課題名】末梢性 T 細胞リンパ腫（PTCL）患者の臨床アウトカムと関連する免疫組織化学的バイオマーカーの検討（OCU15-A）

【研究期間】倫理委員会承認後～2019年3月31日

【研究の意義・目的】

本研究では、末梢性 T 細胞リンパ腫分類不能型と診断された患者さんの初診時の病理組織標本を用いて、免疫組織化学的に腫瘍の発生や増殖などとの関連が報告されているマーカーの発現量を測定し、その値と T 細胞リンパ腫の初期治療への反応性、再発、予後などの臨床アウトカムとの関連を比較検討することを目的とします。これにより、治療反応性や予後予測に有用なマーカーを特定できる可能性があります。

【本研究の対象となる方】

2006年1月1日～2015年3月31日前後に当院で末梢性 T 細胞リンパ腫分類不能型と診断された方

【研究の方法】

末梢性 T 細胞リンパ腫分類不能型と診断された方で、2006年1月1日～2015年3月31日までに当院に凍結保存されている生検検体を使用して免疫組織染色を行い、各マーカーの発現量を計測するとともに、日常診療で記載された情報をカルテより収集し、臨床アウトカムと各マーカー発現量との関連性を調べます。

●調査項目：患者様の情報（年齢、性別、疾患、疾患状態、治療内容、血液型、HLA 情報など）、ドナー様の情報（ドナー性別、血液型、HLA 情報、採取細胞数など）、移植条件（前処置内容、GVHD 予防内容、移植日など）、移植後経過（生着日、急性・慢性 GVHD 発症日や重症度・治療内容など、感染症、移植後の再発や生存状況など）その他、臨床上必要な血液検査、画像所見、病理所見など。

●測定項目：腫瘍発生や腫瘍増殖、血管新生などとの関連が報告されているマーカーや腫瘍発生との関連が示唆されている免疫関連因子

●対象症例数：70例

本研究で得られた情報に関しては厳重に管理し、医学雑誌等に結果を公表する場合にも個人を特定できない形で行います。希望があれば、本研究におけるご自身に関する情報は

お知らせすることができます。

本研究への参加は拒否することもできます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。この研究の対象となっている可能性がある方または代理人（保護者など）の方で、本研究の対象から外れることを希望される場合は、お手数ですが、担当医または下記の研究責任者までご連絡ください。

【研究責任者】日野 雅之

大阪市立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学

住所：大阪府大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

電話：06-6645-3881 FAX：06-6645-3880